

「想い」をつなぐ認知症地域支援の取組み



「干し柿を作る人」

認知症を考える家族の会の方々が描かれたものです。

東広島市健康福祉部地域包括ケア推進課

認知症地域支援推進員 清水 祐佳



東広島市について(位置、面積等)



人 口	188,387人 ※1
65歳以上の人口	46,838人 ※1
高齢化率	24.8% ※1
日常生活圏域	10圏域
包括数(基幹型) (直営) (委託)	1ヶ所 1ヶ所 7ヶ所
推進員数	8人(兼務)
面 積	635.16km ²
名産品	日本酒 西条柿、牡蠣 赤じゃがいも など

※1資料:住民基本台帳 令和4年3月末現在

- 県の中央部に位置し、県内各方面からのアクセスが良好。
- 市内に大学が4つある国際学術研究都市。
- 周囲を低い山々に囲まれた標高200～400mの盆地状の地形が大部分を占める。
南東部は、瀬戸内海に面している。
- 元力士の安芸乃島、ゴルファーの岡本綾子、安田大サーカスのクロちゃんの出身地。
川栄李奈主演の映画『恋のしずく』は、西条が舞台♪

黒瀬町について

(令和3年3月末)

- 人口 22,168人
- 高齢者人口 7,154人
- 高齢化率 32.3%
- 要支援・要介護認定率 14.4%

※第1号保険者に占める割合

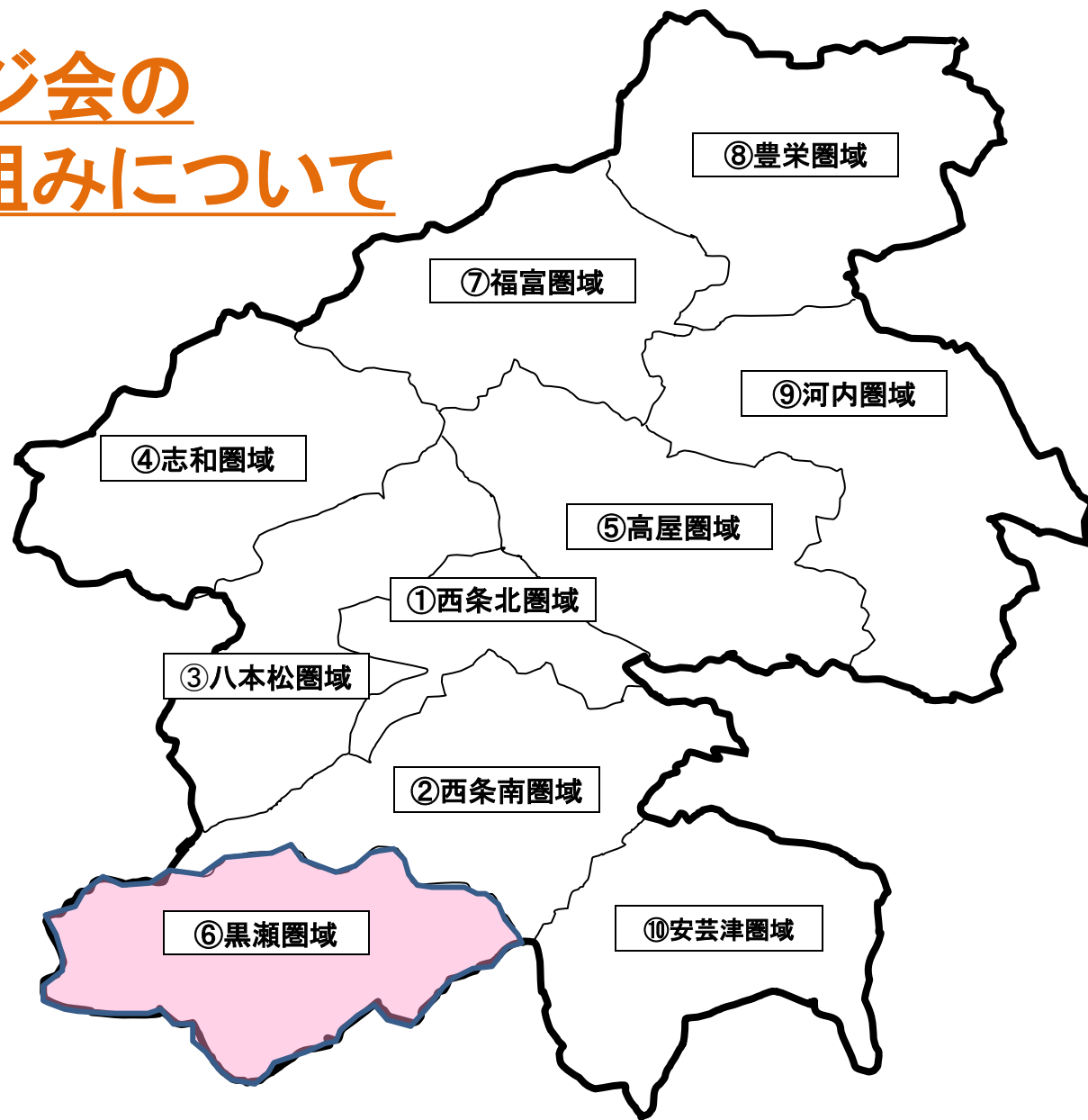
- 認知症高齢者数 559人

※認知症高齢者数とは...認知症自立度Ⅱ以上の人数

- 特産品 黒瀬牛・黒瀬たこやき
- 特徴 広島国際大学や県立黒瀬高等学校などの福祉系の学校が立地している。



黒瀬オレンジ会の 取り組みについて



黒瀬オレンジ会立ち上げのきっかけ

キャラ名 のん太

(東広島市公認マスコットキャラクター)

性別 オスじゃなくて「男の子」

身長・体重 秘密

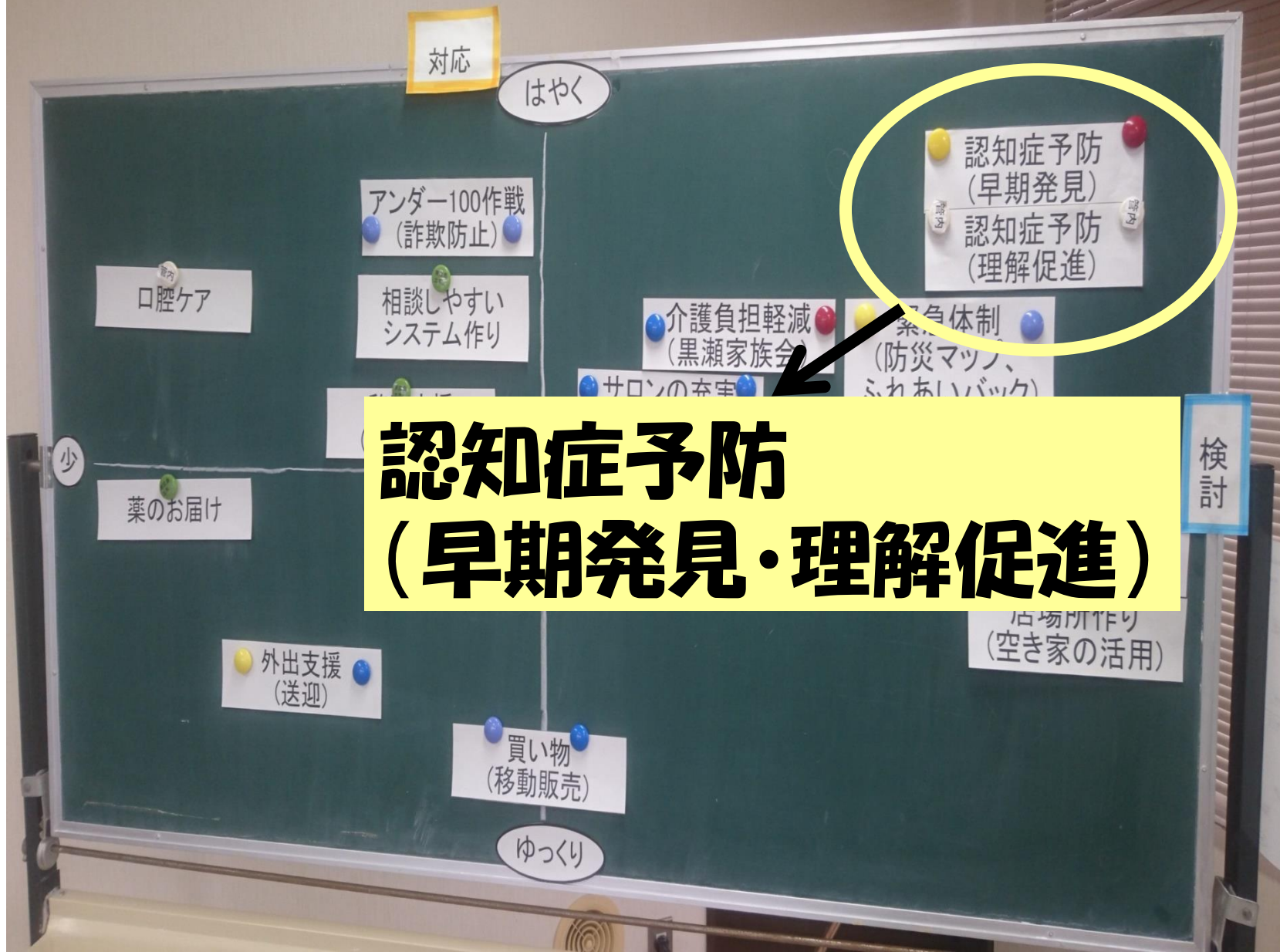
好きな食べ物 (西条) 日本酒、美酒鍋、
酒スイーツ

趣味 宴会、祭り

※のん太イラストは320種類以上!!



平成27年度 黒瀬地域関係者ネットワーク会議



黒瀬オレンジ会について

- 定例会：2か月1回奇数月(年6回)
- 構成メンバー:18名

在宅医療推進医

民生委員児童委員副会長

生活支援コーディネーター

オレンジアドバイザー

キャラバンメイト

・町内3居宅介護支援事業所 主任ケアマネジャー

・広島国際大学 助教授

黒瀬商工会青年部

黒瀬地域包括支援センター



会の様子→

黒瀬オレンジ会のあゆみ



黒瀬オレンジ会 組織関係図



黒瀬オレンジ会

定例会；奇数月

メンバー構成；在宅医療推進医、民生委員児童委員、生活支援CD、オレンジアドバイザー、キャラバンメイト、黒瀬商工会青年部、地域包括支援センター

川柳部会

SNS部会

夜カフェ部会

キャラバンメイト活動：
認知症サポーター養成講座

黒瀬オレンジ会メンバーのメイトを中心に町内メイトと連携して活動



認知症カフェ
「かふえ ほのぼの」

3居宅介護支援事業所主任ケアマネジャーが共同運営

黒瀬町地域課題検討会：
専門職による地域課題検討会

生活支援CD、居宅介護支援事業所主任ケアマネジャー、地域包括支援センターが毎月定例会議開催

黒瀬オレンジ会SNS



- 令和3年10月より Instagram Facebook 始めました。
- フォロワー数 400人突破 (令和4年5月現在)
- 黒瀬オレンジ会の活動などを投稿しています



KUROSE_ORANGE_GROUP

黒瀬オレンジ会の取組み

●オレンジ会メンバーの思い

1. 全町民が認知症サポーターになる地域を目指そう！
2. 気軽に相談ができる環境や場所をつくりたい！
3. 町内サポーターが地域で活動できる体制を考えたい！
4. 地域の社会資源を生かした地域づくりや取組みを考える。

など

認知症の人や家族の視点を大切にすること

1. 全町民が認知症サポーターになる地域を 目指そう！①

★既存の資源を生かした取り組み①

年2回、社会福祉協議会から発行される『社協だより』に折り込みチラシを入れ、
町内全世帯に配布

認知症カフェや
もの忘れ相談会の告知も
できるPON!



認知症になっても安心して自分らしく住み続けられるまち・黒瀬町

正しく知ろう 認知症

発行元：黒瀬地域包括支援センター
〒739-0692 東広島市黒瀬町丸山1333番地
電話：0823-82-0203

認知症は、周囲の理解とサポートがカギ

認知症の患者数は高齢化とともに増え続け、2025年には、65歳以上の5人に1人が認知症になるといわれています。認知症は誰にもなる可能性があります。

家族が、友人が、認知症と診断されたとき、どのように関わり合っていけばいいのか。まずは認知症を理解することから始めませんか。周囲の理解と正しい関わりがあれば、本人も家族も穏やかに暮らしていくことが可能になります。

新・認知症ガイドブックが できました!!

自分や家族が認知症の診断を受けた時、または、認知症かなと心配になった時、はじめて読んでいただきたい冊子です。

認知症当事者や家族の「声」や、認知症の経過と対応、各種サービスや相談機関の連絡先などが掲載されています。

冊子は、黒瀬支所の5番窓口にあります。

認知症になっても安心して自分らしく住み続けられるまち・黒瀬町

正しく知ろう 認知症

Vol.7



発行元：黒瀬地域包括支援センター
〒739-2692 東広島市黒瀬町丸山1333番地
電話：0823-82-0203
FAX：0823-83-2403

「まさか、この若さで妻が」

今回は、若年性認知症と診断を受けた妻の介護をしている家族からの投稿です。

妻は病院で医療事務の仕事をして28年間していました。仕事をしているとパソコンが今までみたいに使えないとか、新しいことが覚えにくくなってきたと言っようになり、家でも物忘れや同じことを繰り返すなどの症状が同じことを繰り返す後、仕事で迷惑をかけることが多くなり働きづらくなったみたいで仕事を辞めることにしました。

私生活でも「おかしななあ」と思うことが続き、病院に連れて行きました。認知症の疑いがあるので大きな病院で検査することを勧められました。紹介してもらった病院でいろいろな検査をしたら、若年性認知症だと診断されました。その時、妻は54歳でした。こんな若さで認知症になるのかと思ひ、私は非常にショックを受けました。しかし、受け入れるしかないかと思ひ、できることは自分でやるしかないと思っようにしましたが、私も仕事をしていますし、出張も多くありました。帰宅が遅くなることや家を空けることもありました。帰ってみると家が大変なことになっていたことも何度かありました。私も正直、このまま仕事をしながら介護ができるのかと不安になり、毎日が苦痛でした。

ある日、ご近所の紹介で民生委員さんに相談する機会があり、介護認定を受けることを勧められて要介護1の認定を受けました。普段はデイサービス、出張の時はショートステイにお世話になることになりました。しかし、デイサービスは8時半～16時半までです。通常でも前後の約2時間は一人で居ることになり、仕事をしなければ思ひ通りにすることもできない時もあり、毎日非常に不安です。近いうちには、もっと認知が進み仕事をやりながらの介護はできなかり、施設に入れるにしても不安でした。ご近所から休業や介護休暇(時間単位で取得可能)など充実を図ってきています。行政も離職せずに働ける必要があると思っています。

現在、私は58歳で妻は一歳年上です。要介護4になり正直、働けるのが不安でいっぱいですが、先行政、地域、会社の方々に助けてもらわないと働けるから介護はできないので皆さんの力を借りながら頑張っと思っています。

黒瀬町在住Cさん

あなたの経験は誰かの力になる

オレンジボイス投稿募集中!

認知症に関するエピソードや経験談を募集

採用された方は、市イベントや黒瀬ナビ、次回のチラシ(来年6月頃)に掲載予定。
▶投稿先 黒瀬地域包括支援センター(郵便・窓口・FAXにて受付)

認知症のココが知りたい! 教えてドクター

まわりにはなかなかきけないことを黒瀬町内の医師にきいてみました!

Q. 本人を病院に連れていきたいが、嫌がって困っている。

A. 家族だけで病院に相談することは可能です。しかし、本人を診察しないと判断はできないため、必要であれば、地域包括支援センターや専門チームを紹介することもあります。まずは、家族だけでも病院や地域包括支援センターなどに相談することが大切です。

Q. 薬が処方されたけど、効果はあるの?

A. 薬を飲むことで、認知症の進行を遅らせることができます。副作用を心配したり、「よくなるから」と途中でやめてしまう方が多く見受けられますが、1年後、2年後と将来のために飲んでいただくものです。飲み薬の他に貼り薬もありますので、かかりつけ医や薬剤師にご相談ください。



認知症カフェ



認知症の方やご家族、地域の方が集まって、認知症に関する日々の困りごとや思ひを話し合う場です。介護や医療の専門職も参加しており、話を聞いてもらうこともできます。認知症について関心のある人など、事前連絡で、誰でも参加いただけます。

日程	時間・場所
10月13日(水)	13:30~14:30 黒瀬保健福祉センター
11月11日(木)	
12月14日(火)	
1月13日(木)	
2月16日(水)	
3月10日(木)	

- ・要予約
- ・参加費 200円程度
- ・コロナ感染状況によって中止することがあります。
- ・問合せ/申込先 黒瀬地域包括支援センター
電話 0823-82-0203



かふえ ぼのぼの 動画インタビュー!!



認知症カフェに参加したきっかけは?

最初はよくわからなかったけど、近所の人に誘われて行ってみたいよ。雰囲気がよくて気に入っているよ。



認知症当事者
Aさん



一緒に参加していかがですか?

一人で悩むことが多かったけど、行ってみたら同じ悩みを抱えた人がいて、話ができよかった。介護の専門の人もいて、話を聞いてもらって心が軽くなったよ。



家族Bさん

市内認知症カフェの情報はこちら⇒



1. 全町民が認知症サポーターになる地域を目指そう！②

★既存の資源を生かした取り組み②

社会福祉協議会主催「福祉体験授業」のメニューに認知症サポーター養成講座を導入！

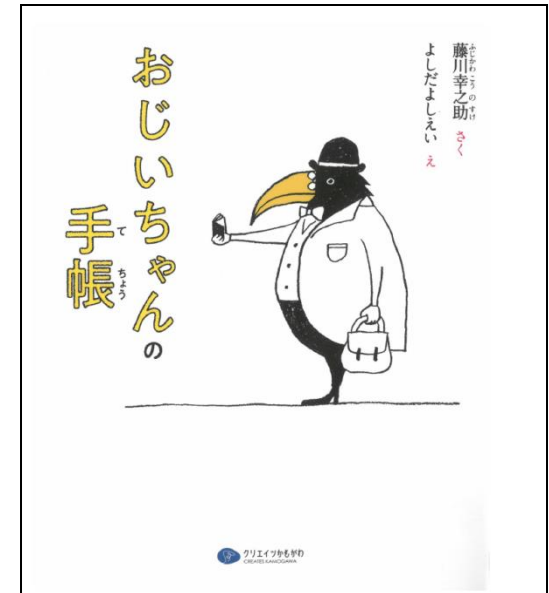


★新たな助っ人が!!

認知症サポーター養成講座を受講した**図書館の職員**が小学校で使用する認知症の授業にあった本を選定。**教材選びに協力**いただきました！



↑ レスキューのん太



2. 気軽に相談できる場所や環境をつくりたい！

★認知症カフェ

かふえ
ほのぼの



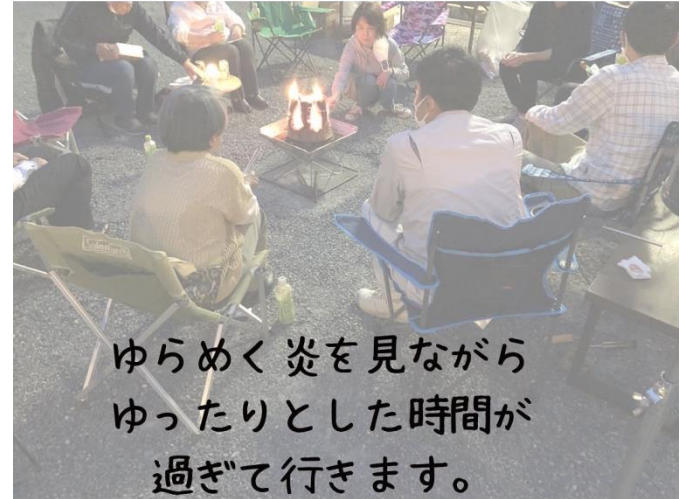
- 町内3つの居宅介護支援事業所が共同運営
- 月に1回 会場は当番制
- 当番が当日のカフェの準備を行う。
- 当日は3つの居宅介護支援事業所が参加
- 毎月参加は20～30名程度

多くの方に
参加いただいています。





夜の認知症カフェ 開催!



詳しくは
こちら→



お寺でアウトドア形式で開催
今流行りのスウェーデンーチ

3. 町内サポーターが地域で活動できる体制を 考えたい！

認知症サポーター養成講座の企画で 大切にしていること

1. 講座の依頼者の希望を確認する。
2. メイトは、所属を超えてシャッフル構成し、チームで行う。
3. メイトが出会った方々の「声」を活かす。
4. 地域で自身(サポーター)がどんな役割を担い、活動できるか考えてもらう。

ロバ隊長マスコットづくり



- ボランティア活動をしたいと申し出があったご夫婦。奥様は手芸教室の先生をしていましたが、コロナの影響で教室をお休みしているそうです。
- ロバ隊長のマスコット制作を依頼したところ、快く引き受けていただきました。
- このロバ隊長は、黒瀬での認知症イベントやカフェで活動してもらう予定です。
- ご夫婦は、認知症カフェにも参加してくれています。



がんばるぞ！





手芸の得意なキャラバンメイト
さんが衣装を作っています。
毎月が楽しみです！

広島銀行黒瀬支店 地域の掲示板



認知症サポーター養成講座を受けた広島銀行黒瀬支店様より、窓口にある掲示板を地域の掲示板として活用したいと申し出がありました。

設営は、銀行員と一緒にしています♪



4. 地域の社会資源を生かした地域づくりや取り組みを考える。

黒瀬地域課題検討会の様子



認知症カフェで男性介護者の参加が増えている。

包括支援センターで認知症の妻を介護する夫の相談が立て続けに入っている



黒瀬オレンジ会でも共有



学習会を開催
男性介護者家族支援について学習。

4. 地域の社会資源を生かした地域づくりや 取り組みを考える。

この取り組みは、赤い羽根共同基金の
配分金の一部を活用しています 

男性介護者の ための勉強会 を開催します

今、黒瀬町には、妻や母親などの生活を夫や息子など
男性が支えている世帯が増えています。
今回は、「認知症」のご家族を支えている男性を対象に
次のような勉強会を開催いたします。
お気軽に、ご参加ください。

会 場:黒瀬保健福祉センター
(黒瀬町丸山1286-1)
参加費:無料
定 員:各回 20名程度
申込〆切:6月13日(月)
その他:ご本人と一緒にお越し
の場合も対応できます。
気軽にご相談ください。

 **【第1回】**
支援されている本人は、いったい
どう感じているの？
「認知症」と本人の気持ちに寄り添
ったサポートについて学びます。
日時:令和4年8月23日(木)
13:30~15:30
内容:「認知症の家族への対応に
ついて」
講師:賀茂精神医療センター
精神科医 山岡 信明 氏

 **【第2回】**
毎日3食の食事。「こうあるべき!」と
頑張りすぎていませんか?
頑張り過ぎない食事作りについて
学びます。
日時:令和4年7月8日(金)
13:30~15:30
内容:「完璧じゃなくていい、
日々の食事作りについて」
講師:広島国際大学
健康福祉学部医療栄養学科
教授 木村 長子 氏

 **【第3回】**
経験者に話を聞こう!
認知症の妻を長年介護されている
先輩の体験談から学びます。
日時:令和4年8月2日(火)
13:30~15:30
内容:「私が経験してきたこと」
講師: 景山 運吾氏

主催:黒瀬町主任ケアマネの会
共催:黒瀬オレンジ会
東広島市社会福祉協議会黒瀬支所

【問合せ・申込み先】
東広島市社協黒瀬支所 TEL:0823-82-2026(沖本)
さくら園居宅介護支援事業所 TEL:0823-83-6060(久保)
コスモス園居宅介護支援事業所 TEL:0823-82-2888(児玉)
黒瀬地域包括支援センター TEL:0823-82-0203(清水)

黒瀬オレンジ会の今後の展望

これまで、これからも

すべては関わった人たちの**声(思い)**から始まっています。

みなさんの**声(思い)**を大切にして、

「認知症になっても暮らしやすい黒瀬町」

を目指して取り組んでいきたいと思えます。





黒瀬オレンジ会



ご清聴 ありがとうございます。